



あおぞら

株式会社 ひこうせん

2019年4月1日第144号
〒263-0012
千葉市稲毛区萩台町632-40
TEL 043-290-8778
FAX 043-290-8779
発行者 木村伊佐

開設14周年記念パーティ



3月1日グループホームひこうせんは、開設14周年を迎えることができました。これもひとえに皆様方のご支援のたまものと心より御礼申し上げます。

3月は、梅、桃、桜など沢山の花が咲き誇る季節です。この時期に開設できたことを心から嬉しく思います。祝賀パーティは1ヶ月遅れの4月3日に行われました。

1日には新しい元号「令和」が発表され、歴史的瞬間に日本列島が沸きました。入居者の皆さんの中には、大正・昭和・平成・令和と4つの元号を生きたる方が大勢います。そしてそのご長寿を1日でも長く楽しくひこうせんで生きてもらいたいと願うご家族の皆さんに支えられ14年が経ちました。ケーキを囲み全員で歌ったバースデーソング、皆さんの大きな歌声がリビングに響き渡り胸が熱くなりました。昨年はインフルエンザに見舞われ13周年を祝うことができませんでした。今年のご家族の皆さんのご協力とスタッフの結実が実を結び1人もかからず春を迎え、14周年記念パーティを祝う

春到来・手作り桜餅

ホーム前の早咲きの桜がピンク色の花を咲かせお散歩が楽しくなってきました。今日は、手づくり桜餅で春を味わいたいと思います。

毎年、恒例となっている手づくり桜餅ですが、今年のは向島長命寺で桜餅が誕生して三百年の記念すべき年だそうです。ひこうせんの桜餅は長命寺の関東風です。生地をホットプレートで焼いて餡を包みます。意外に簡単に作れる桜餅ですが、個性が出るのは生地を流す時・予め用意した型紙に合わせて正確に生地をホットプレートに流すのはおじいさんやうのはおばあさんです。そしてカメラマンに向かって笑顔を作ってポーズを決めるのはおばあさん。形は様々でも結果オーライで全員の桜餅が美味しく出来上がりました。



平成30年度第4回運営推進会議

1月17日(木)今年度最後の会議が民生委員・あんしんケアセンター職員、ご家族、ホーム代表、の10名の出席者で開催されました。

現況報告・活動報告・年間ヒヤリハット・事故等事例報告・身体的拘束適正化検討委員会・自治会・あんしんケアセンターからの話と会議が進行し、質疑応答では、ご家族から、認知症の症状や身体状況の重度化している現況への不安や、看取りを見据えた特養への入居の検討などのご質問がありました。

現在、日本の平均寿命は男女とも80歳を超え、多死社会における看取りのあり方が重要になってきました。また、人生の最終段階において医療・ケアについて考える機会を持ち、本人が家族や医療・ケアチームと繰り返し話合うことが重要であるという取り組み、アドバンス・ケア・プランニング(ACP)も普及してきました。

厚労省では、人生の最終段階を迎えた本人や家族等と医療ケアチームが最善の医療・ケアを作り上げるための合意形成のプロセスを示すものとして「人生の最終段階における医療・ケアの決定プロセスに関するガイドライン」を作成しました。(次回運営会議にて配布予定)

これらの取り組みには入居者の皆さんの心身の状態の情報提供や医師の説明など「かかりつけ医」(福富先生)の役割も重要になってきます。

次回運営推進会議、全体会では福富先生をお招きしてご家族の医療面についての質問や終末期医療の現況についてお話し頂く予定です。どうぞよろしくお話しします。

今回の会議を持ちまして平成30年度の4回の運営推進会議を無事に終了することができました。ご協力いただきましたありがとうございます。

【事業所概要(事業所記入)】 自己評価作成日:平成31年3月10日 ・事業所番号:1290300191 <http://gh-hikousen.net/>
・法人名:株式会社 ひこうせん ・事業所名:グループホーム ひこうせん ・所在地:千葉県千葉市稲毛区萩台町632-40

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

閑静な住宅地に立地し、ホーム前のスポーツセンター運動公園が、散歩コースになっています。四季の移り変わりを楽しめる環境の中で利用者の皆様が生活しています。年4回開催される運営推進会議には毎回多くのご家族や民生委員・あんしんケアセンター職員・医療関係者等の出席があり、サービスの開示・質の向上に向けた意見の収集・地域とのつながりを深めるための交流の場としても有意義な会議となっています。入居者個々の認知症の容態に応じた適時・適切な介護・医療の提供に努めています。外出やイベントも多くあり、入居者の皆さんの暮らしを楽しんでいます。またファミリーイベントには(夏祭り・うなぎ会・クリスマスディナー)多くの皆さんのご参加を頂き、ご家族同士の交流の場となっています。

【評価機関概要(評価機関記入)】 訪問調査日:平成31年3月15日 ・評価機関名:特定非営利活動法人NPO 共生 ・所在地:千葉県習志野市東習志野3-1-15

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

事業所理念を玄関や各フロアに掲げ、また、クレドカードにして全職員が携帯し日々業務が遂行されている。理念と共に心得15ヶ条も添付されており、申し送り時に唱和を行い、入居者一人ひとりの「尊厳を支える介護」が実践されている。家族参加の成田「クリスマス・イルミネーションディナー」をはじめ、季節に応じた周辺の名所見学や、サーカスの観劇、スポーツセンター周辺での毎日の散歩等、高い頻度で外出支援を行い入居者の心身機能の維持向上・認知症状の緩和などに成果をあげている。又、事業所内では夏祭りやうなぎ会などを開催し、自治会主催のイベントにも参加し地域の方々との交流にも積極的である。開設当初から発行されている広報誌「あおぞら」にはこうした活動が掲載され、入居者家族ばかりでなく、地域住民にも回覧されている。またホームページ上でも閲覧できるようになっており、事業所運営の透明性、サービスの質の確保が行われている。